

# リベット固定からビス固定へのサイドガード交換手順書

## ■対象機種

・リベット固定のサイドガード装備車

## ■補足

・リベット固定のサイドガード装備車のサイドガードの交換手順を示します。

## 使用工具

- ・プラスドライバー×1
- ・電動ドリル(ドリル径φ4.1)×1

⚠ 注意 電動・エアードライバー使用不可

## 構成部品

- ① サイドガード
- ② M4.5×13 ワッシャ組込み型ビス  
(黒色クロメート、ポイントあり)【写真2】
- ③ M5×13 ワッシャ組込み型補修用ビス  
(黒色クロメート、ポイントなし)【写真3】



写真1

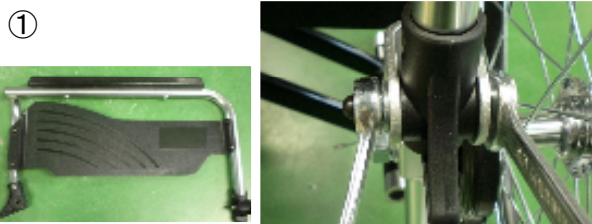
写真2

写真3

⚠ 注意 M5×13 ワッシャ組込み型補修用ビスについて  
補修用ビスはネジ穴が広がった際に使用して下さい。  
写真2の通常のビスとは呼び径が異なり、見分けがつくように  
頭部にポイント(写真3)がありません。

## 作業方法

- ・本手順書ではウイング機能付き 且つ リベット固定のサイドガード装備車いすのサイドガードの交換手順を示します。
- ・ウイング機能付きではない車いすのサイドガードの交換は下記の②～④の手順で作業をおこなってください。



① アームサポートフレームを車いすから外します。  
ナイロンナットを先に外し、ボルトを外してください。



② サイドガードを固定しているリベットをドリルで外します。  
固定箇所全て外してください。

### ⚠ 作業上の注意

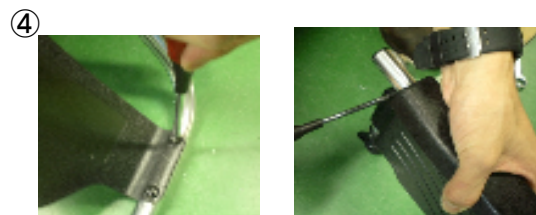
必ずリベットの頭の中心にドリルの刃先をあて、締結面  
に対し垂直になるようドリルを使用してください。



③ リベットを外した際の破片がパイプ内へ入ると車い  
す使用時に、音鳴りの原因となりますので取り出して  
ください。

### 作業上のポイント

フレームの取付用穴を使用すると、取り出しやすいで  
す。



④ 新しいサイドガードの取付穴とフレームの取付穴を合わ  
せM4.5×13ビスを全て仮締めします。

仮締め終了後、サイドガードが内外側に湾曲せず、取付  
用ビスに組み込んであるワッシャが回転する程度に締め  
ます。

締め付け後ににガタつき、たわみがないか確認します。

⚠ 注意 ネジ穴が広がった場合  
M5×13補修用ビスに交換してください。

## リベット固定からビス固定へのサイドガード交換手順書

⑤



サイドガード交換後、本体フレームへ取り付けて完成です。取り外した時と同じように取り付けてください(①)。  
※左右行う場合、手順は左右同様になります。

### 作業のポイント

固定ボルトの締め込み具合でウイングの可動固さが異なります。

先にボルトを車いす外側から取付け、調節しながら締め付けてください。調節が出来たらボルト側を固定し、ナットを締めてください。

### ⚠ 注意

- ・ネジ、ナットは時計回しに回すと締まり、反時計回しに回すと緩みます。
- ・部品交換の際は安全・確実な作動のため同じ大きさおよび形状のものを御用意ください。
- ・ご使用頂く前に必ず試乗し、作動確認等行ってください。

## ビス固定のサイドガード交換手順書

### ■対象機種

・ビス固定のサイドガード装備車

### ■補足

・ビス固定のサイドガード装備車のサイドガードの交換手順を示します。

### 使用工具

・プラスドライバー×1、スパナ19mm×2

**⚠ 注意** 電動・エアードライバー使用不可

### 構成部品

- ① サイドガード
- ② M4.5×13 ワッシャ組込み型ビス (黒色クロメート、ポイントあり)【写真2】
- ③ M5×13 ワッシャ組込み型補修用ビス (黒色クロメート、ポイントなし)【写真3】



**⚠ 注意** M5×13 ワッシャ組込み型補修用ビスについて  
補修用ビスはネジ穴が広がった際に使用して下さい。  
写真2の通常のビスとは呼び径が異なり、見分けがつくように  
頭部にポイント(写真3)がありません。

### 作業方法

・本手順書ではビス固定のサイドガード装備自走型車いすのサイドガードの交換手順を示します。  
・介助型車いすの場合は主輪を外さなくてもサイドガードの交換が可能です。

①



外側は固定

スパナ19mmを2本を使用して駆動輪を本体から外します。

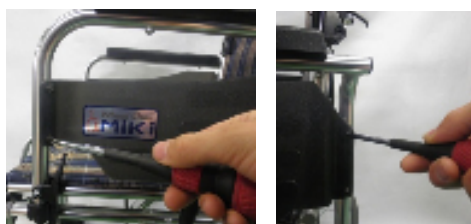
②



サイドガードを固定している全てのビスをプラスドライバーで外します。

③

前方



後方

新しいサイドガードの取付穴とフレームの取付穴を合わせM4.5×13ビス全てを仮締めします。

仮締め終了後、サイドガードが内外側に湾曲せず、取付用ビスに、組み込んであるワッシャが回転する程度にビスを締めます。

締め付け後にガタつき、たわみがないか確認します。

④

外側は固定



締め付けトルク 24Nm

最後に①で外した駆動輪を本体に取り付けます。  
車軸のナット(UNF1/2)の締め付けトルクは24Nmです。  
※左右行う場合、手順は左右同様になります。

**⚠ 注意** ネジ穴が広がった場合  
M5×13補修用ビスに交換してください。

### ⚠ 注意

- ・ネジ、ナットは時計回しに回すと締まり、反時計回しに回すと緩みます。
- ・部品交換の際は安全・確実な作動のため同じ大きさおよび形状のものを御用意ください。
- ・ご使用頂く前に必ず試乗し、作動確認等行ってください。